

R5年度 野村小学校 通学路対策箇所図

【対策検討メンバー】

- ・教育委員会、学校(学)
- ・道路管理者(道)
- ・防犯担当部署(区民)
- ・警察署交通課(警・交)
- ・警察署生活安全課(警・生)



(野村小2)
交通量が激しい。車両の速度も速いので、横断が危険。

<対策内容>

- ・児童への交通安全指導(学)
- ・黄色い旗の設置準備(学)

(野村小6)
特に朝・夕の交通量が多く慢性的に交通渋滞が発生しており、登下校時に危険がある。また、歩道が狭い箇所があるため危険がある。

<対策内容>

- ・児童への安全指導(学)
- ・4車線化、歩道拡幅を実施(道)

(野村小7)
特に朝・夕の交通量が多く、見通しが悪い交差点である。西側は歩道もなく、道路幅員も狭いことから登下校時に危険がある。

<対策内容>

- ・児童への安全指導(学)
- ・交差点の線形改良及び歩道の整備を実施(道)

(野村小3)
草木が多く、低学年が隠れるほど。防犯上も危険。

<対策内容>

- ・児童への安全指導(学)
- ・保護者への送迎等の依頼(学)
- ・本路線にかかる除草(道)
- ・道路管理者による対策実施までの間、パトロール強化(警・生)

(野村小1)
歩車分離式信号の歩行者用の信号が短く、高学年の児童でも渡り切れない時がある。

<対策内容>

- ・児童への安全指導(学)
- ・保護者による朝の街頭指導活動依頼(学)
- ・歩行者青信号の切替り直前の赤信号の秒数を2秒→4秒に変更(警・交)

(野村小4)
朝の時間は規制があり通行できない車両があるにもかかわらず、交通規制を守らない車が多い。橋をわたって通行する児童が危険。

<対策内容>

- ・児童への安全指導(学)
- ・交通指導取締りを適宜実施(警・交)

(野村小5)
木が歩道まで出ていて目や顔への怪我の危険あり。

<対策内容>

- ・児童、保護者への安全指導(学)
- ・仙台土木事務所へ河川区域の樹木の剪定等の対応依頼(道)
- ・道路管理者による対策実施までの間、パトロール強化(警・生)

— : 通学路

● : 交通対策箇所

● : 防犯対策箇所